令和６年度　健康づくりをすすめよう委員会

（会議録）

日時：令和６年９月１９日（木）１３時３０分～１５時００分

　場所：徳山保健センター１階　健診ホール

会議時間　令和６年９月１９日（木）１３時３０分～１５時００分

出席委員：１６名（欠席４名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 | 委員名 |
| 周南公立大学 | 福　森　絢　子 |
| 山口県周南健康福祉センター | 藤　重　久美子 |
| 徳山医師会 | 西　岡　浩　司 |
| 徳山歯科医師会 | 重　中　政　信 |
| 山口県栄養士会　周南地域事業推進委員会 | 佐　古　純　子 |
| 周南市老人クラブ連合会 | 上　村　哲　史 |
| 周南市スポーツ推進委員協議会 | 明　石　和　憲　 |
| 周南市母子保健推進協議会 | 兼　重　江美子 |
| 周南市食生活改善推進協議会 | 佐々木　哲　子 |
| 周南市公立保育園　園長会（周南市こども保育課） | 山　本　惠　子 |
| 周南市公立幼稚園　園長会（周南市こども保育課） | 山　縣　千　恵 |
| 小学校（周南市学校教育課） | 勝間田　文　子　 |
| 山口県漁業協同組合周南統括支店 | 山　本　敏　郎 |
| 住民代表 | 石　田　京　子 |
| 住民代表 | 柳　谷　悦　子 |
| 住民代表 | 茅　原　道　夫 |

欠席委員：4名

開会

○事務局　　定刻となりましたので、ただいまから、令和６年度「健康づくりをすすめよう委員会」を開会いたします。この委員会は、健康づくり計画に基づいて、市民、地域社会、関係団体、職域、学校、行政が一体となって、健康づくりの取組を推進する目的で設置しております。任期は１年となっております。

令和２年３月に策定いたしました「第３次周南市健康づくり計画」ですが、昨年度の健康づくりをすすめよう委員会では、「栄養・食生活」「身体活動・運動」について、委員の皆様にご協議いただきました。

今年度は、健康づくり計画の中間評価の年にあたることから、中間評価と見直しについて皆様にご協議いただき、健康づくりの推進につなげていきたいと考えております。

なお、会議は「健康づくりをすすめよう委員会」設置要綱第6条第3項に「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことはできない」としております。本日の出席委員は20名中16名、欠席が4名でございますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、本日の資料の確認をいたします。

（資料の確認）

挨拶

○事務局　　　それでは、開会にあたりまして健康づくり推進課 課長 貞長がご挨拶を申し上げます。

○課　長　　（挨拶）

○事務局　　　それでは、次に委員の皆様のご紹介をいたします。大変勝手ではございますが、名簿順にご紹介させていただきますので、お名前をお呼びしましたらご起立をお願いいたします。

○各委員　　　（自己紹介）

○事務局　　　　続きまして、「健康づくりをすすめよう委員会」事務局の紹介をさせていただきます。

（事務局自己紹介）

会長　副会長の選出について

　 ○事務局　　　それでは、本日の会議に入らせていただきます。お手元のレジメに沿って、

会長、副会長の選出後、議題についてご協議いただきたいと考えております。

よろしくお願いいたします。ではまず、会長・副会長の選出について、おは

かりいたします。皆様の中から推薦される方は、いらっしゃいますでしょう

か。

　○委　員　　　事務局に一任でよろしくお願いいたします。

　○事務局　　　ありがとうございます。それでは、事務局一任の御発声をいただきまし

たので、事務局案をお示ししたいと思います。

　○事務局　　　会長は徳山医師会から推薦の西岡委員、副会長は周南公立大学から推薦の福森委員にお願いしたいと思います。皆さま、ご承認いただけますでしょうか。

　○委員一同　　※承認の拍手

　○事務局　　　ありがとうございます。それでは、西岡会長、福森副会長よろしくお願いいたします。よろしければ前の席にお移りください。

　○会長、副会長　（挨拶）

　議題　「第３次周南市健康づくり計画」について（説明）

　○委員長　　　それでは、議事に入らせていただきます。

本日は「第３次周南市健康づくり計画」の中間評価見直しについて、骨子案について、実施したアンケートについて、委員全体で共用する場としたいと思います。

大きな項目ごとに質疑応答の時間を設けますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まずは、「第３次周南市健康づくり計画　骨子案　の第１章　計画中間評価・見直しの概要と　第２章　市の健康をとりまく状況」について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局　　（資料「第３次周南市健康づくり計画　骨子案」を説明）

　⇒第１章、第２章

　　※配布資料の差し替えについて説明

　　※中間評価・見直しの年間スケジュールを説明

　○委員長　　　ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、質問やご意見がありましたら、挙手にてお願いいたします。何か質問はございませんでしょうか。

　　　　　　　　私の方からよろしいでしょうか。

　　　　　　　　14ページのがん検診の受診率について、職場で検診を受けている人の人数はこの中に含まれているか？

○事務局　　ご質問ありがとうございます。

　このがん検診の受診率は市のがん検診を受けられた方の受診率になりますので、職場で受けられました検診の方はこの中に含まれておりません。例えば、胃がんですと4.1％になっていますが、40歳～69歳の全人口が分母になっていますので、その中で市の検診を受けられた方で受診率が出されております。

　○委員長　　　受診率の母数は国民健康保険の方が対象？

○事務局　　　全住民の方が対象です。

　○委員長　　　もしかしたら受けてるかもしれない職場の人も母数に反映されているということでしょうか？

○事務局　　　現在の仕組みでは職場で受けられた方の受診状況を市の方で把握する術がないので、受診済みの人を母数から除くのは難しい状況でございます。

　○委員長　　　ありがとうございます。

　　　　　　　　その他何かありますか。

　　　　　　　　では、続きまして、「第３章　中間評価」について、まずは、「１　評価・見直しの方法」と「２　健康づくり計画の中間評価」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局　　（資料「第３次周南市健康づくり計画　骨子案」を説明）

⇒第３章中間評価のうち「１　評価・見直しの方法」「２　健康づくり計画の中間評価」について説明

　○委員長　　　どうもありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、何か質問やご意見がありましたら、挙手にてお願いいたします。

　　　　　　　　また私から質問ですが、部署が違うのかなと思うんですけど、子宮頸がん予防の取り組みに関連してお聞きします。子宮頸がんのワクチン接種のキャッチアップについては、私共が所属している徳山医師会でも接種は推奨しているのですけれども、これはどちらの活動になるんですか？

○事務局　　　健康づくり推進課で、子宮頸がんワクチンもやっております。

　○委員長　　　　がん検診勧奨とワクチン接種推奨を併せてやられた方がいいのかなと。

○事務局　　　　がん検診とワクチンの啓発を一緒に進めていったらいいのではないかというご提案ですが、実は先日、子宮頸がんの検診を受けておられない方にハガキでご案内したんですが、ここにワクチンを受けましょうという勧奨が含まれていて、ハガキの方に子宮頸がんワクチンについての情報提供も併せて行っております。

　　　　　　　　子宮頸がんワクチンを啓発する時でもワクチンを受けるという事だけでなく、「がん検診と併用していただくという事が大事ですよ。」と広報しています。ワクチンだけで完全に子宮頸がんを防げるわけではございませんので、ワクチンだけでなく、がん検診との併用を皆様にはお伝えはしております。

　○委員長　　　　ありがとうございます。

　　　　　　　　　何かご意見はありませんでしょうか。

　　　　　　　　　続きまして、「３　食育推進計画の中間評価」と「４　自殺対策計画の中間評価」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局　　（資料「第３次周南市健康づくり計画　骨子案」を説明）

⇒第３章中間評価のうち「３　食育推進計画の中間評価」「４　自殺対策計画の中間評価」について説明

　○委員長　　　ありがとうございました。今日の事務局の説明を聞いて、それぞれの団体で「今やっている取組みを続ける必要がある」「今後新しくこういう取り組みができそうだ」とか、ご意見やご感想で構いませんのでお願いします。委員の皆様いかがでしょうか？

　○委員　　　　幼稚園の方は「あさごはんチャレンジ」というのを年長児で取り組

ませていただいています。

　　　　　　　　「あさごはんチャレンジ」は主な栄養素を色ごとに分けて保護者も子どももバランスが取れた食事について確認できるような取り組みを毎年やっています。保護者の方から「食事の内容を見直すいい機会になりました」という報告と、子供たち自身も「朝ごはんに赤（蛋白質）がないよ」とか「緑（野菜）を食べなきゃいけないなという気持ちになる」など、よい気付きが生まれるとてもいい取り組みだと思っています。このような取組みを幼児の時からやっていくという事は良い取り組みだと感じています。

○委員長　　 ありがとうございます。他のご意見ありますでしょうか。

○委員　　　 私たちは食推として、研修会や健康料理教室を通じて市民の皆さんに向けて食事の大切さを伝える活動をやってるんですが、だんだん会員が高齢化し減ってきています。そんな感じなんですが、「食べることは生きること」という事で、人生健康に過ごしていくことが大切なのですが、やはり普段からの食事を見直すことが大切ですので、地道な活動をしているところです。今は、食推が考案した「周南スープ」を地域の場で試食していただく活動も行っています。いろんなことを考えながら、「これが正しい、これが正しい」というんじゃなくて、柔らかい発想でそれぞれができることをできる範囲でやっています。なかなか効果が出てるのかどうか心配に思うこともありますが、予防が大事というところですね。

　 ○委員長　　　ありがとうございました。皆さん、本日は活発な協議、貴重な意見を多数いただき、ありがとうございました。

本日頂いたご意見は、今後の推進の参考としていただきたいと思います。また、各所属団体内等でも、次回のすすめよう委員会の際までにご検討いただきますよう、よろしくお願い致します。

本日は中間評価ですけれども、これが最終的には全部A評価を目指すというような感じなんでしょうか。

○事務局　　　 目標値は令和6年度で、達成しているものに関してはさらに目標を掲げて、達成していないものにつきましては、目標値は現状のままでいいのか、現状値を見ながら目標値をどのように設定するかというのをまた、しっかり計画の案をお示しする際に皆様にご意見をいただきたいと思っておりますが、目標値ですので、やはり全てAを目指すというふうには考えております。

　 ○委員長　　　　皆様、次回もよろしくお願いします。副委員長から今日の会議について何かあればお願いします。

　○副委員長　　　　子どもから大人までいろんな結果が出ていて、資料を興味深く拝見させていただきました。

　　　　　　　　　一つご質問してもいいでしょうか。

　　　　　　　　　24ページの「栄養バランスに配慮した食生活をほぼ毎日考える」というところの対象に小学生・中学生とあるんですけれども、小学生・中学生が毎日食事のことを考えているのか、保護者が考えているのかどちらなのでしょうか。

○事務局　　　　はい。ありがとうございます。小学生・中学生については子どもさんに記載をお願いしておりますので、基本的には子どもが主体で返答はしていますが、もしかしたら小学生については親御さんがサポート去れて回答された家があるのかなと思います。年長児さんは保護者の方に直接お尋ねをしています。

　○副委員長　　　子どもが論議し、今日は3食ちゃんと食べたねという知見がもらえているという事ではないかもしれない。

○事務局　　　　そうですね。子どもの思うバランスが取れた食事という考えで付けていただいているので、実際にバランスがとれているかというところの多少ちょっとずれがあるかもしれない。

　○副委員長　　　分かりました。子どものところに50％とか書かれるとどうしても怪しいなと思ったので。

　○委員長　　　　それでは、予定されていました議題をすべて終了いたしましたので、委員長・副委員長の役を解かせていただきます。

○事務局　　　ありがとうございました。

　　　　　西岡委員長、福森副委員長、進行ありがとうございました。

　　　　　　　委員の皆さま、どうもありがとうございました。

　　　　　　　本日、協議していただきました内容を中間評価や見直しの参考としながら、次回の健康づくりをすすめよう委員会の開催へ向けて準備をしてまいりたいと考えております。

今後のスケジュールについては、本日最初にお示ししましたように、次回令和６年１１月と令和７年２月の開催を予定しております。また日にちが近づきましたらご案内をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

今日、委員さんにそれぞれの所属や団体での取り組みをご紹介していただきましたが、今後は一旦それぞれの団体に持ち帰っていただき、取り組みの強化とかや見直しなど、更なる計画の推進のために皆様の立場でできる事を考えていただく流れで協議の方向性を考えております。またご協力の程、よろしくお願いいたします。

以上で、「健康づくりをすすめよう委員会」を閉会いたします。

今日はありがとうございました。

皆様、お気をつけてお帰りください。